

11/12 (日)

開演13時 開場12時20分

木戸銭 前売券3000円

当日券3500円

定員40名 満席になり次第締切

すみだ北斎美術館 墨田区亀沢2-7-2

MARUGEN100 講座室



©Forward Stroke

知られざるの江戸・文楽の謎

講演に楽しむ

北斎

北斎修行時代

田辺一記

北斎グッズ口上

宝井梅湯

馬琴・北斎の大喧嘩

田辺鶴遊

こんな所に北斎さんが

田辺凌天

画料半額?どうする北斎

宝井琴梅

百話



講談で楽しむ 北斎百話

平均寿命が40歳といわれた江戸時代に、90歳という長寿を全うした北斎。「100歳をすぎた頃には、神妙の域に達するだろう」と口にするぐらい、晩年に至るほど、創作に対する情熱がより濃厚になりました。自らを「画狂人」と称したのが頷ける、破天荒で奇抜なエピソードが数々伝えられています。北斎がどのように江戸の町を生きたのか。作品だけでは分からない、希代の天才絵師の知られざる姿を様々な角度から、講談という話芸で浮彫りにしてみようという試みです。



○地下鉄大江戸線・両国駅A3出口より徒歩5分
○JR総武線・両国駅東口より徒歩9分
錦糸町駅北口より墨田区内循環バスで5分
駐車場はありません

北斎修行時代

本所割下水(現在の墨田区亀沢)に生まれた北斎は「6歳の頃からもののかたちを絵に写し取るという癖」があったそう。貸本屋の小僧、版木彫師・勝川春章に入門して浮世絵師になったものの生活は厳しく、七色唐辛子や柱暦を売り歩き糊口をしのぐ日々…。どんな修行時代だったのやら？

北斎グッズ口上

北斎は生涯で3万点近い作品を描き残したが、その作品が現代では様々な「北斎グッズ」として楽しめる。江戸切子ガラス、ストール、Tシャツ、財布、名刺入れ、手ぬぐい、パスポートカバー、クリアファイル、羊かん、飴、お菓子などなど。その多彩な商品の数々を台の上に並べて、フーテンの寅(いえ、フーテンの梅が)面白く魅力を講釈。

馬琴・北斎の大喧嘩

滝沢馬琴の読本に北斎が挿絵を描くと、たちまち江戸で大評判。さぞかし気の合うコンビだと思いきや、登場人物が汚い草履を口でくわえる場面を「描く、描かない」で意見が合わずとうとう絶交。それでもお互いの生き方は認め合うところは、やっぱり二人は大物アーティストどうし？

中入り (休憩)

こんな所に北斎さんが

北斎の出生地(墨田区)には、北斎の名作に出会えるすみだ北斎美術館のほかにも、隅田川防潮堤には「絵本隅田川兩岸一覽」のレプリカや銭湯の壁画が描かれたり、屋形船の船名が「北斎」など、あちらこちらで北斎の気配を感じることが出来ます。現場レポートを写真をみながら紹介。

カメラ 遠山智士

画料半額？どうする北斎

長崎出島のオランダ商館長(カピタン)と蘭方医から絵巻物が注文された。描き上げるとカピタンは約束通りの代金を払ったが、蘭方医は難クセつけて半額にしろと言いだした。この時北斎は「異国人の無理に屈すれば日本の恥」と巻物を持ち帰る。北斎の絵師としての矜持を示すエピソード。



田辺一記 たなべかずき
2019年田辺一邑に入門、
前座となり一記
2024年二ツ目昇進



宝井梅湯 たからいうめゆ
2010年宝井琴梅に入門、
前座となり梅湯
2015年二ツ目昇進
2024年真打昇進
四代目宝井琴凌を襲名



田辺鶴遊 たなべかくゆう
2001年田辺一鶴門下となり駿之介
2002年前座
2008年二ツ目
2009年師匠没後に宝井琴梅門下
宝井駿之介
2015年真打昇進
田辺鶴遊を襲名



リポーター
田辺凌天 たなべりょうてん
2015年田辺凌鶴に入門
前座となり凌天
2021年二ツ目



宝井琴梅 たからいきんばい
1966年十二代目田辺南鶴に入門、鶴遊
1968年南鶴師の死去により
五代目宝井馬琴門下となり 宝井琴時
1969年二ツ目昇進
1975年真打昇進
五代目宝井琴梅と襲名
2021年講談協会会長に就任
2023年講談協会相談役

主催 宝井琴梅応援団、すみだ北斎美術館 協賛 東京東信用金庫

前売券・問合せは 宝井琴梅応援団まで
電話・FAX 03-3806-1648

講談で楽しむ 北斎百話
～次回予告～
令和6年1月21日(日)午後1時より
すみだ北斎美術館MARUGEN100
出演 宝井琴梅ほか